

複数の質問からランダムに出題するLMSテストの作成

効果的な復習のためのLMS教材として、学生が何度でも受験できる自動採点可能なテストがあります。

ただし、理解を確認できるまで繰り返して受験できる反面、繰り返し受験する過程で正解の選択肢や計算結果などを覚えてしまうことがあります。このため、復習の教材とするには何らかの工夫が必要です。

たとえば、本誌No.39のLMS活用授業レポートで紹介しました経済学部地域経済学科の溝口佳宏先生は、復習用の教材として何度でも受験可能なテストを、以下のような工夫をして学生に提供しています。以下1, 2については、問題の答えを覚えるのではなく解き方の理解を確認させたい、3については、正誤の判別を学生自身にさせることでしっかりと復習させたいという意図とのことでした。

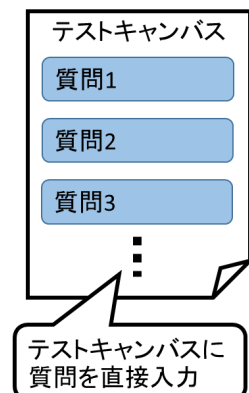
1. 受験の度に40の質問からランダムに5問を選択して出題（ランダム出題）
2. 質問の種類として計算問題を使用
3. 学生には合計点のみ表示

この記事では、上記1のランダム出題のテストを作成する一つの方法について、その概要を紹介します。



通常のテスト

ランダム出題のテスト作成方法の前に、ランダム出題をしない通常のテストの作成方法について確認です。右図の「通常のテスト」のように、基本的にはテストキャンバスに質問を直接入力した後、受験回数や表示開始日など必要な設定をすることで作成できます。具体的な作成



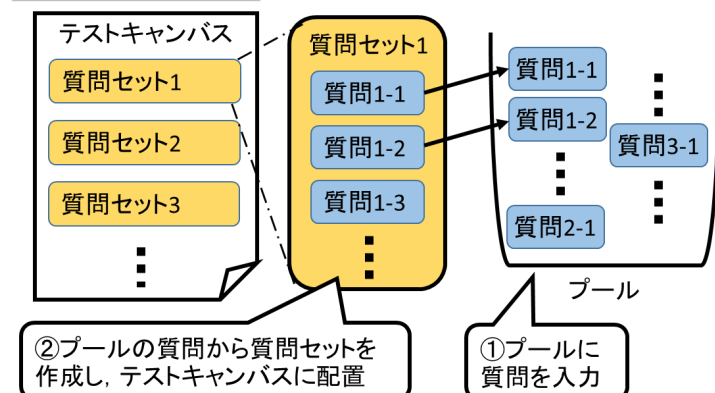
手順は、教員用のLMSハンドブックの「04 テストを作成する」を参照ください。

それでは次に、ランダム出題のテストの作成方法です。下図の「ランダム出題のテスト」のように、まず①出題する全ての質問を、プールという場所に入力します。質問の入力場所は、通常のテストとは異なりテストキャンバスではありません。次に、②テストキャンバスに質問セットを作成します。質問セットでは、プール内の複数の質問を指定でき、その質問からランダムに選択して出題する数を任意に指定できます。

たとえば、溝口先生のテストのように、40の質問から5問出題する場合は、まず40個の質問をプールに入力し、これらの質問から5問出題する質問セットをテストキャンバスに作成します。もちろん、プールへの質問追加、質問セットの質問や出題数はあとで変更可能です。ただし、1回でも受験があった場合、質問セットを変更するには、受験結果を破棄する必要があります。

上記で紹介しましたランダム出題のテストの具体的な作成手順は、今号のLMS Tips「[テストのランダム出題](#)」をご覧ください。

ランダム出題のテスト



教職員向けLMS操作講習用コースをご活用ください！

LMS上でいつでもLMS操作講習を受講していただくことができる「教職員用LMS操作講習」コースを公開しています。「学生として受講」体験用教材や「教員として教材作成」操作体験用ビデオ、LMS活

用アイデアビデオなどを掲載しています。活用方法は以下のサイトをご覧ください。

・教職員用LMS操作講習（eラーニング版）

<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/tools/lms/lms-kousyu.html>

LMS活用事例レポート

八王子キャンパスユーザとの座談会



今回は、八王子キャンパスの高等教育開発センター教育研究方法支援室(CTL)を訪れて、八王子キャンパスにおけるLMSの活用についてお話を伺いました。

LT 八王子キャンパスのパソコン教室は、いくつありますか。

CTL 情報教室というのが5教室あります。全部で300台くらいのパソコンがあると思います。

LT 授業外で学生が利用するのに足りていますか。

CTL いいえ、試験前やレポートの提出日が重なっているときは、足りません。情報教室も空いていない、図書館のパソコンも空いていないということでパソコンを利用したくてもできない学生もいるようです。

LT LMSは、授業だけでなく空いている時間を使って自分で学習できることが良いところの一つなのですが、時期によってパソコンが足りていないのですね。

CTL 宇都宮キャンパスの地域経済学科は文系ですが、LMSは使われているのですか。

LT はい、1年生必修の情報基礎1という授業でLMSを使い始めるのですが、最初の3回くらいはログインするだけでも大騒ぎです。でも授業回終盤頃には全員ほぼ問題なくLMSを使えるようになっていきます。

CTL 学生は、割とできちゃうんですね。そういう意味では、1年生が1,500人以上受講している情報リテラシーIでは、少なくとも効果測定試験をLMSで実施しているので、この学生達は多分大丈夫そうです。

LT 学生に聞いてみると、授業で先生がLMSを使っているかどうかの違いがLMSに対する印象に大きく影響するようです。基本的には、どの学科の学生もLMSを使って授業資料だけでも公開して欲しいと

思っているのではないかと思います。

CTL まずは先生方にLMSを知ってもらうためにもLMS講習会に参加していただくことからですね。

LT はい、ぜひ参加いただければと思います。また参加できない方のために基本的な使い方の動画も用意しています*1。もっと細かい設定や機能は、今後の講習会で相談会を予定しています。また、LT開発室では、個別に依頼を受けて授業内容をコンサルティングすることでLMSの活用をサポートしています*2。

CTL 以前、八王子キャンパスのLMSについてのアンケートを実施したことがあり、利用されている先生の7割弱は、授業に役に立つと回答されていました。ある程度役に立つという回答を含めると9割以上です。

LT なるほど。使い始めると授業に役に立つことをわかってもらえるということだと思いますので、まだ使ったことがない先生方にどうすれば使ってもらえるかを考えないといけないですね。

CTL 同じアンケートで、利用しない先生にその理由も聞いているのですが、半分の方は必要がない、4分の1の方は、使い方が分からないという回答でした。

LT 半分の方は、授業で特に困りでないのを使う必要がないということかと思いますが、まずは、LMSに資料を掲載していただくだけでも欠席した学生のフォローや予習・復習など学習機会の提供に繋がりますので、利用を検討していただけると良いと思います。使い方が分からないという方だけでなく、このように必要がないと思っていられる先生にも来てもらえる講習会にしたいと思います。

八王子キャンパスの実状を交えた話し合いの場となりました。LT開発室では、基本操作の動画解説やコンサルティングも行っていますのでご利用ください。

*1 前ページ「教職員用LMS操作講習(eラーニング版)」参照

*2 LTコンサルテーションの申し込みは、LT開発室にご連絡ください。Mail: LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

LMS Tips

- ◆ 「サポート/ヘルプ」タブ
- ◆ テストのランダム出題

※上記のTipsをクリックすると詳細が開きます

Tipsは帝京大学LMSサポートサイトからご覧いただけます。(<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/lms-ss/>)

編集後記

この冬は暖冬で宇都宮でも雪積?あれ雪はパラパラと降ったような…という状況です。桜も3月中旬には開花し、東京では満開のようです。宇都宮キャンパスの桜は満開までにもう少しかかるかな。入学の時期まで桜が残っているといいのですが、今年は難しいかな…

新型コロナウイルスの影響を様々耳にするようになりました。対策と体調に気をつけたいものです。(渡部)

